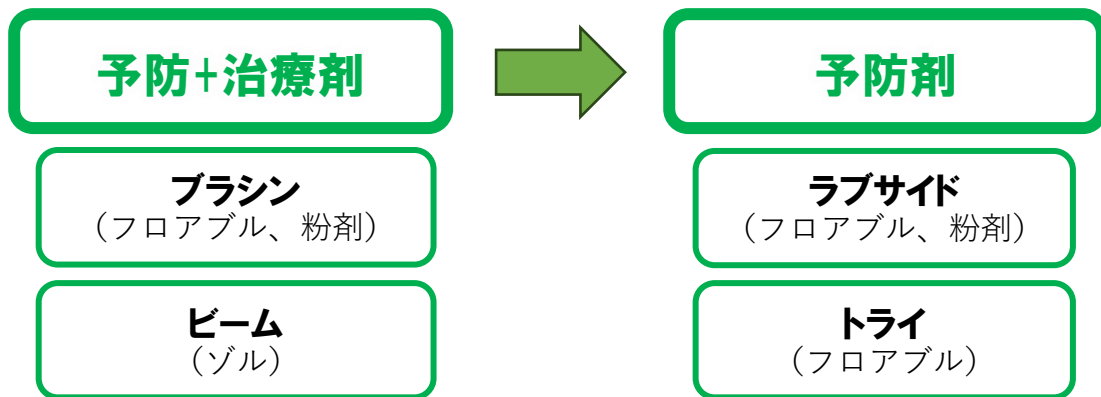


# 大雨被害の事後対策

## 水稻 ～いもち病の発生に注意～

- 冠水した場合には速やかに排水するが、過度の乾燥に注意する。
- 冠水を受けたほ場では、いもち病が発生しやすくなるため、防除を実施する。
- ほ場内の漂着物等は除去に努める。
- 用排水路の土砂、漂着物等は速やかに除去に努める。



### 【農薬の使用回数にご注意ください。】

フサライド(ラブサイド、ブラシン等):3回以内

フェリムゾン(ブラシン等):2回以内

テブフロキン(トライ):2回以内 トリシクラゾール(ビーム):本田では3回以内

## 大豆 ～まず排水！その後追肥実施～

### 排水・中耕

まずはほ場停滞水を排水させる。その後、土中への酸素供給のため、早急に中耕を行う。ただし、開花期が近づいているため遅くならないように。

### 葉が黄化の場合は追肥

はじめに追肥を行い、その後、中耕する。

硫安 現物10～15kg/10a (N : 2～3kg/10a)

空散追肥306 現物7～10kg/10a (N : 2.1～3kg/10a) ※無人ヘリ、ドローン散布可能。

### 葉面付着泥の除去

冠水し葉面に泥が付着した場合は、水をかけて洗い落とします。ブームスプレーヤで水のみを散布します。

### 明きよの補修

大雨で明きよがドロ、ゴミ等で埋まった場合は速やかに除去します。改めて水尻と繋がるよう補修します。次の大雨への備えをしてください。